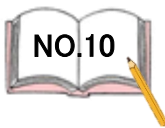


コミュニティ・スクールだより



釧路市立鳥取小学校コミュニティ・スクール協議会

文責：鳥取小学校地域コーディネーター 大越 祥子・塚部 由美恵

H 30. 11. 26

今年度6回目のコミュニティ・スクール協議会を開催しました

11月1日、今年度6回目となる、コミュニティ・スクール協議会を開催しました。前回に引き続き、山口委員長が進行役となり、はじめに本川校長より学校の近況報告、次に、前回の熟議の議題となった、前期学校評価についてのまとめと、この熟議で出た課題を改善していく為に現在学校で取り組んでいる事と、その結果について教頭先生から、そして「全国学力・学習状況調査」の結果報告とこれを踏まえたうえでの、今後の学習の取り組みについて、江端教務主任から説明していただき、熟議へと移りました。

今回の熟議は、これらの報告事項から感じた事や、学校行事・地域行事を通して、鳥小の児童についての意見などを、それぞれの立場から全体で出し合い、熟議を進めていきました。



～本川校長先生より～

ここまでの子ども達の様子についてですが、**子供たちは学校や地域の行事を通して、とても成長したと感じています。**

これは、子ども達はもとより、先生達の日々の努力の賜物であり、先生同士がチーム鳥取を意識していると感じます。引き続き、中学校との連携もはかりながら、子ども達の将来の成長につなげていけるような取り組みを行っていきたいと思います。

課題の改善に向けての取り組みと成果について

課題.1 いじめや友達同士のトラブルについて

生徒指導部を中心に組織的な取り組み
その日の事はその日のうちに解決する

様々な事案に対して全体で情報を共有
スピーディーに解決を図る事ができた

課題.2 携帯やスマホの利用について

高学年と保護者向けに出前講座の実施
道徳の教材で事例を取り上げた授業

児童や保護者に働きかけを続けていく
学校だけではなく家庭の協力も必要

課題.3 短い文章を書く力について

国語の授業での取り組みをさらに強化
他の教科でも短い文章を書かせる取り組み

繰り返し指導する事で向上に繋がる
先生たちも意識して指導を行っている

【平成30年度 全国学力・学習状況調査（6年生対象）における鳥小の全体傾向】

- ・5科目すべてにおいて、全道平均正答率及び全国平均正答率を上回った。
- ・国語の「書くこと」「読むこと」にやや課題が見られた。
- ・家庭学習については、やっていると答えている割合が全国平均より高いが、学習時間については、平均を下回っている。

**この結果を含めたうえで、今後の指導を学校と先生方で検討している。
家庭学習の出し方の工夫や、家庭での生活習慣、学習習慣の協力も必要である。**

熟 議：鳥小の子どもたちについて、それぞれの立場から意見交換

- ・鳥小の子どもたちは授業でもお年寄りと関わっている機会が多く、お年寄りとのコミュニケーションや、信頼関係が出来上がっていると思う。
- ・子どもたちから挨拶をしてくれる機会が増えたと感じている。学校でもあいさつ運動を行っていると感じている。その取り組みの成果が表れているのではないかなと思う。
- ・保護者の送迎で登校する生徒が年々増えているように感じる。体力づくりに影響しないかと心配。送迎の車のマナーについても心配。
- ・用務員さんが学校の周りの落ち葉を掃除している姿を見かけた。長年近所に住んでいるが、学校の外で活動している姿を初めて見て感動した。子どもたちも日々の用務員さんの作業に感謝していると思う。
- ・幼稚園から小学校、小学校から中学校と環境が変わる毎に、子供や保護者はギャップを感じる事があるのではないかな？幼稚園や中学校とも連携を深めていく事や、コミスクを中学校区でも実施できたら良いのではないかなと思う。



11月16日 算数検定 ～コミスク・地域・PTAが主体となって実施～



先日、釧路ロータリークラブ様の受験料寄贈により行われた算数検定は、過去最高の106名の受験申し込み者によって行われました。コミスク委員、地域の方々、PTAの保護者や役員の皆さんのお手伝いをいただき、地域コーディネーターが取りまとめ役となり実施。1年生も最初は戸惑っていましたが、試験が始まると集中して取り組んでいました。本校では、この取り組みは、コミュニティ・スクール校として、重要な取り組みと考えています。冬休み明けには、漢字検定も実施する予定です。

【今後の協議会は平成31年1月16日（水）の予定です】